

安足地域水稲技術情報 No.2

令和4(2022)年6月8日
安足農業振興事務所

作業の重要ポイント

- ① ほ場の地力に応じて施肥窒素量を加減しましょう！
- ② 適切な水管理を行いましょ！

1 今後の気象

気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)			
気温	関東甲信地方	向こう1か月 06/04~07/03	
		1週目 06/04~06/10	
		2週目 06/11~06/17	
		3~4週目 06/18~07/01	
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 06/04~07/03	
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 06/04~07/03	

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

気象庁の1ヶ月予報(6月2日発表)によると、向こう1ヶ月の平均気温は低い、降水量は平年並、日照時間は平年並という予想が出されています。

2 麦あと水稲栽培の作業のポイント

(1) 耕起は慌てずに！

耕起のスピードをゆるめると深く耕すことができ、稲の根が伸びやすくなります。耕深15cm以上を目標にゆっくりと耕起を行いましょ。

(2) ほ場の地力に応じて施肥窒素量を加減！

施肥窒素量が多すぎると、倒伏しやすくなったり、病害虫が発生しやすくなったりするなど収量・品質に悪影響を及ぼします。ほ場の地力に応じて施肥窒素量を加減しましょ。

表 分施(基肥+追肥)体系の品種別窒素標準施肥窒素量

品種名	基肥窒素量(kg/10a)	追肥窒素量(kg/10a)	追肥の時期
コシヒカリ	1~2	2	出穂の15日前
あさひの夢	5~6	2~3	出穂の20~18日前
とちぎの星	3	2~3	出穂の15日前

注1) ひとふりくんなど緩効性を含む肥料を使用する場合(全量基肥)は、分施体系の施肥窒素量(基肥窒素量+追肥窒素量)から2~3割減らします。

注2) 側条施肥を行う場合は、全量基肥の施肥窒素量から2~3割減らします。

注3) 麦わらをすき込んだほ場では、基肥窒素量を1kg/10a増やします。ただし、コシヒカリなどでは倒伏の恐れがあるため増肥はしません。

(3) 代かきのごく浅水で！

代かき時の水位は、節水、浮きワラ対策等のため、田面の高い部分が十分みえる程度の浅水（ベタかき）としましょう。

(4) 田植えは適正な栽植密度、4～5本植えて！

穂数を確保するため、栽植密度は坪当たり 70 株のやや密植とし、1 株植え付け本数は 4～5 本植としましょう。

田植え後 4～5 日間は、水深を 5cm 程度の深水に保ち、活着を促進しましょう。



！注意！

疎植（坪当たり 50～37 株）は、穂数が確保しにくい麦あと栽培には向きません。6～8本植は、過繁茂や倒伏に繋がります。また、1～2本植では、穂数不足や欠株を生じやすくなります。

(5) 除草剤散布後 7 日間の止水を徹底！

除草剤を散布する直前には、水深を 5cm の深水とします。

除草剤散布後 7 日間は、絶対に落水・掛け流しをせずに（水の動きを止める）、除草剤の処理層を安定させましょう。その後は、差し水等で水深 3～4cm を保ち、地表面は極力露出させないようにしましょう。

(6) 早めの間断かん水で、稲の根に酸素と水を供給！

稲わらをすき込みしたほ場では、気温の上昇に伴ってガスが発生し、稲の根腐れや生育停滞を引き起こします。田植後 25 日頃から間断かん水に切り替えてガス抜きを行いましょう。

農薬を使用するときは、ラベルをよく読み使用方法をきちんと守りましょう

4月～6月は「春の農作業安全確認運動」の実施期間です。

乗用型トラクターの事故が最も多く発生しています！以下のことを心がけましょう。



- 安全キャブ・フレームのある機種を使用する
- シートベルトとヘルメットを着用する
- ほ場を出る際は、ブレーキの連結ロックを確認する
- 日没前の作業終了と、一般道走行に備え反射材を装着、点検する

問い合わせ先

安足農業振興事務所 経営普及部 農畜産課 0283-23-1431
ホームページ <https://www.pref.tochigi.lg.jp/g58/index.html>